



# ペイント部門設立 20th Anniversary 復刻デザイン

「イースター・エッグ」 デザイン／南條 眞紀子



撮影／本間 伸彦



この図案はどなたでもダウンロードしていただけます  
ハンディクラフツのご購入の必要はありません

©公益財団法人日本手芸普及協会2023



# イースター・エッグ

**材料** 素材：卵（中身を抜いた殻、またはゆで卵）  
 筆：丸筆2号、平筆6号  
 用具：使い捨てビニール手袋、竹串、トレーシングペーパー、転写紙、スタイラス、チャコペンシル、綿棒、極細油性ペン（黒）  
 仕上剤：ファイナルコート、JWライトステップバーニッシュなど

**図案サイズ** ウサギ＝縦3.7×横2cm

## ◆アクリル絵の具 ※メーカー不問

白（チタニウムホワイト、スノーホワイトなど）  
 ピンク（ローズピンク、ブードルスカーレットピンク、赤+白の混色など）  
 紫（ライラック、ラベンダー、赤+青の混色など）  
 水色（ベビーブルー、ウェッジウッドブルー、青+白の混色など）  
 赤（ナフソールレッド、ナフソールクリームゾンなど）  
 こげ茶（パーントアンバーなど）  
 緑（フォレストグリーン、リーフグリーンなど）

### 下準備

[1] 卵の中身を抜きます。（ゆで卵の場合は不要）

①卵の上下に画びょうで穴をあける。下（尖っていない方）は、やや大きめ（5mm程度）に開け、下の穴から竹串を入れて中身をかき混ぜる

②上の穴から、息を思いきり強く吹き込み、中身を下の穴から出す

③殻の中を水でよくすすいで乾かす

[2] 卵全体のベースを塗ります。

①使い捨て手袋に絵の具をとり、おにぎりを握るように卵を持って表面に絵具をつける

②卵の穴に竹串を刺し（ゆで卵はそのまま）、絵の具を乾かす

※サンディング、下地処理は不要

### 描き方順序

[1] 下絵が必要な場合は、トレーシングペーパーに図案を写し、転写紙で写します。

[2] 軽く水で湿らせた筆で描きます。  
 ※転がらないようにリング状のもの（カットしたキッチンペーパーの芯、マスキングテープなど）の上にのせると描きやすい

※はみ出したら、乾く前に濡らした綿棒でそっと拭きとる

※濃くしたい場合は、よく乾かしてから重ね塗りする

### 仕上げ

よく乾かしてからニス塗ります。

### イースター・パニーの描き方

※全体のベースを塗り、下絵を転写したら、指定以外は丸筆2号で絵柄を描く

#### ◆色の指定

全体のベース＝ピンク（ビニール手袋/手塗り）

ウサギの頭、耳、手、足＝白（丸筆/べた塗り）

ワンピース＝水色（丸筆/べた塗り）

リボン＝紫、カゴ＝茶色

目＝赤（スタイラス）、目の光沢＝白（スタイラス/赤が乾いてから少量のせる）

耳の中＝ピンク、耳の根元の陰＝赤

鼻＝薄めた赤（少量とり、筆先を細くとのえて細いラインで描く）

草＝緑（絵の具を筆にとってから軽く拭きとり、かすれ気味に描く…ドライブラシ）

小花＝赤、白（スタイラス）

文字＝紫（または黒の油性ペン）

### ジグザグ模様の描き方

[1] チャコペンシルで、縦に6分割の線と、横に4本のガイドラインをひきます。

[2] ガイドラインを目安に、フリーハンドで図案を描きます。

[3] ジグザグラインの輪郭を丸筆で描き、内側を平筆で塗りつぶします。

[4] 同様に下側を塗ります。

[5] スタイラス（または綿棒）に絵の具をとり、ドットを描きます。

### ハートの花模様の描き方

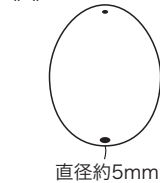
[1] チャコペンシルで、縦に4分割の線と、横に2本のガイドラインをひきます。

[2] ガイドラインを目安に、フリーハンドで図案を描きます。

[3] 各モチーフの輪郭を丸筆で描き、内側を平筆で塗りつぶします。

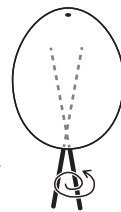
### 卵の処理

《1》

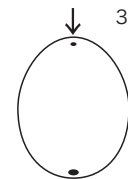


1. 画びょうで上下に穴をあける  
下は少し大きめの穴

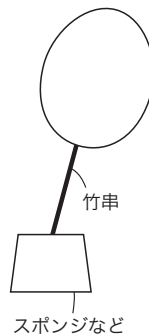
2. 竹串でかきまわす



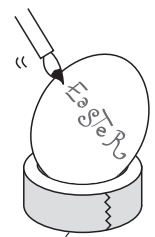
3. 上から強く息を吹き込んで  
中身を下から出す



《2》乾かす



《3》描く



カットしたキッチンペーパーの芯、マスキングテープなどの上にのせる

### 図案

※卵のサイズに合わせて適宜拡大・縮小

